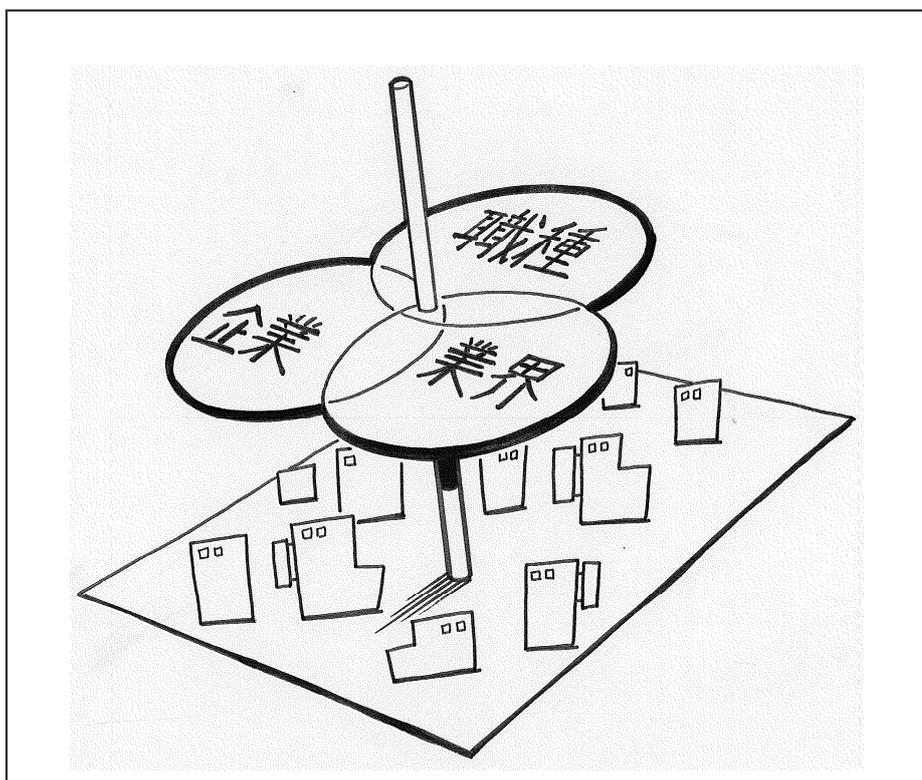


業界・企業研究入門

会社選びの第一歩

活動冊子

ver. 2.0



監修



財団法人 海外技術者研修協会

学習スケジュール

◆はじめに(目的、スケジュール、評価方法)	3
Part1オリエンテーション	
第1回 「会社選びに必要な＜自分軸＞とは？」.....	5
Part2 業界調査	
第2回 日本の主要業界を知る(1) 調査の準備をする.....	10
第3回 日本の主要業界を知る(2) 調査方法と手順を学ぶ.....	14
第4回 日本の主要業界を知る(3) 業界について調査する	17
第5回 日本の主要業界を知る(4) 発表の準備.....	20
第6回 日本の主要業界を知る(5) プレゼンテーションのリハーサル	22
第7回 日本の主要業界を知る(6) プレゼンテーション	24
Part3 業界軸／職種軸を考える	
第8回 私の業界軸／職種軸(1) 仕事を業界軸で考える	26
第9回 私の業界軸／職種軸(2) 仕事を職種軸で考える	31
Part4 企業軸を考える	
第10回 私の企業軸(1) 企業選びの条件	34
第11回 私の企業軸(2) 大企業と中小企業	39
第12回 私の企業軸(3) 仕事を企業軸で考える.....	41
Part5 まとめ	
第13回 会社選びのための＜自分軸＞(1) 最終レポート作成	43
第14回 会社選びのための＜自分軸＞(2) 発表	45
第15回 社会人基礎力「チームで働く力」私の強みと今後の課題.....	46
■評価シート.....	48
◆各回のキーワード	56

アイコンについて：それぞれの内容に合わせて、活動のサイズをアイコンで示しています。各項目の指示に合わせて、活動を進めて下さい。



◆はじめに

a. 目的：

- ①会社を選ぶ際に必要なく自分軸^{じぶんじく}を完成する——そのために必要な視点となる<業界> <職種> <企業>の3つについて調査・分析し、最後に自分の<軸>を作る手がかりとする。
- ②ピア（仲間）関係の構築——活動を通して社会人基礎力「チームで働く力」を鍛える。

b. スケジュール：

Part	回	日付	授業の流れ	内容	提出物／発表	その他
1	1		オリエンテーション	「会社選びに必要な自分軸とは？」	ワークシート ws1-1	
2	2		業界調査 1	「日本の主要業界を知る」 調査の準備をしよう		
	3		〃 2	〃 調査方法と手順を学ぼう		
	4		〃 3	〃 業界について調査しよう		
	5		〃 4	〃 発表の準備		
	6		〃 5	〃 プレゼンテーションのリハーサル		
	7		〃 6	〃 プレゼンテーション	中間発表 課題シート1	ビジター セッション
3	8		業界軸／職種軸を 考える 1	「私の業界軸／職種軸」 仕事を業界軸で考えよう		
	9		〃 2	〃 仕事を職種軸で考えよう	課題シート2	
4	10		企業軸を 考える 1	「私の企業軸」 企業選びの条件		
	11		〃 2	〃 大企業と中小企業		ビジター セッション
	12		〃 3	〃 仕事を企業軸で考えよう	課題シート3	
5	13		最終レポート	「会社選びのための自分軸（1）」 レポート作成	最終レポート	
	14		発表	「会社選びのための自分軸（2）」 発表	最終発表	ビジター セッション
	15		自己評価	「チームで働く力」最終自己評価		インタビュー 映像視聴

c. 評価方法：

1. 中間発表「業界調査プレゼンテーション」 9項目 36点満点
 4段階評価（良い／概ね^{おおむ}良い／やや難あり／要改善）
 - ①グループ全体に対して4項目
 内容／構成／説得力／視覚資料の明確さ
 - ②個人に対して5項目
 言語：文法／語彙^{ごい}・表現
 非言語：声の大きさ・スピード／イントネーション・発音／アイコンタクト
2. 課題シート1「業界調査」 5項目 20点満点
 4段階評価（良い／概ね良い／やや難あり／要改善）
 - ① 内容に対して2項目
 情報収集力／情報分析力
 - ② 日本語力に対して3項目
 文法／表記／表現
3. 課題シート2「私の業界軸／職種軸」 5項目 20点満点
4. 課題シート3「私の企業軸」 5項目 20点満点
5. 最終レポート及び最終発表「会社選びのための＜自分軸＞」 7項目 28点満点
 4段階評価（良い／概ね良い／やや難あり／要改善）
 - *内容
 - ① 内容に対して2項目
 論理力／分析力
 - ② 日本語力に対して3項目
 文法／表記／表現
 - *発表（質疑応答能力）
 - ① 受信力 相手の質問の意図を理解しているか
 - ② 発信力 相手が理解できるようにことばを選び、的確に答えているか
6. 総合評価 上記1～5までの成果と授業中の作業活動によって評価する。
7. その他「社会人基礎力（チームで働く力）」 点数への換算はなし
 実施時：第3回～12回、及び第15回 評価方法：自己評価

Part 1 オリエンテーション

第1回 「会社選びに必要な＜自分軸＞とは？」

3つの軸からのアプローチ

◆この回の目的・目標

1. 本コースの到達目標を理解する。
2. 会社選びに必要な＜自分軸＞とは何か、またその視点となる＜業界＞＜職種＞＜企業＞の3つの軸とは何かを理解する。
3. 企業で求められる「社会人基礎力（チームで働く力）」とは何かを理解する。

1 会社選びに重要視したいことを考える。



現時点で、就職したいと思うのはどのような会社か。

自分の考えを下の枠内に400～600字程度にまとめて書き、グループで話し合ってください。

ワークシート（ws1-1）：「会社選びに重要だと思うこと」

日付：

氏名：

2 就活中の日本人学生の考えを知る。



リソース集(p.3)資料1「企業を探すためのあなたの判断軸、基準はどのようなものですか？」を読んで、自分たちが考える会社選びの視点と異なる点や気づきをグループで話し合い、最後にクラス全体で意見交換しよう。

3 会社選びに必要な<自分軸>とは？ <自分軸>の意味を考える。

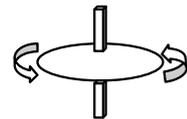


次の日本人就活生の発言を読んで、<自分軸>の意味をグループで考えよう。

- ・自分は、「尊敬できる人がいるか」、「<自分の軸>を持って働けるか」を考えて会社を選んだ。
- ・<自分軸>がないと、せっかく就職できても長続きしないことが多い。
- ・入社したあとで、「こんなはずじゃなかった」と後悔しないためにも、<自分の軸>を持って就職活動をするのは大切。
- ・<自分軸>は私にとって絶対譲れないこと！
- ・<自分軸>は私にとって活動するときの原動力となる。
- ・複数の会社から内定をもらったが、<自分軸>で選ぶことができたので全く迷わなかった。



自分軸とは・・・



4 <自分軸>を作るために必要な3つの視点を理解する。



会社選びに必要な<自分軸>を作るためには、「業界」「職種」「企業」を研究し、軸を持つことが重要である。

① 業界研究 → 業界軸

社会にはどのような業界があるのか、その位置づけ、現状、動向を知る。

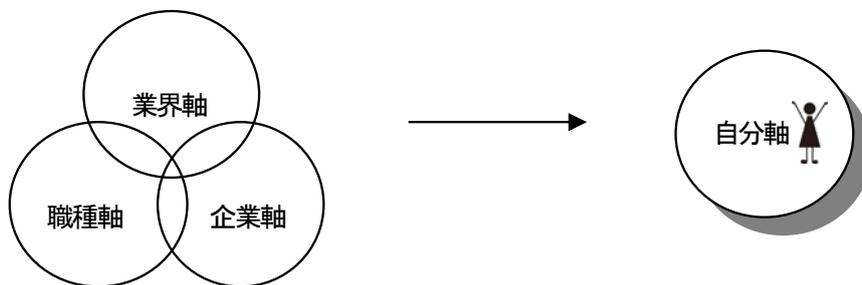
② 職種研究 → 職種軸

世の中にどのような職種があるかを知る。また、同じ職種でも業界によって仕事の内容に違いがあることを理解する。

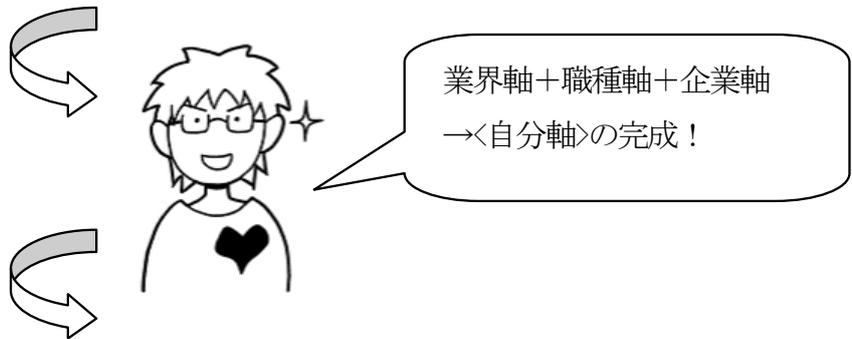
③ 企業研究 → 企業軸

企業文化（理念や社風）、職場環境や待遇条件など、あらゆる視点から企業を知る。

****自分軸の見つけ方****



＜会社選びの自分軸ができるまで＞



＜自分軸＞を持って、就職セミナー、会社説明会、OB／OG訪問へGO！



5 企業で求められる「社会人基礎力<チームで働く力>」とは何かを知る。

社会人基礎力の1つ、<チームで働く力>を構成する6つの能力要素（→リソース集（p.4）資料2）はどんな力か。今後、授業の中でそれぞれの力が発揮できるよう、グループ活動を行う際の具体的な行動例をグループで考えよう。



ワークシート（ws1-2）<チームで働く力>を構成する6つの能力

構成する力	質問	具体的な行動例
発信力	どうすれば整理して話せるか。相手に理解してもらうためにどうすればいいか。	例) 発表の前にポイントをメモする。相手が理解できたかどうか確認をとる。
傾聴力	相手の話しやすい環境をつくるには具体的に何をすればいいか。適切でない質問のタイミングとは？	
柔軟性	自分のルールややり方に固執するというのはどんな意味か。相手の意見や立場を尊重するには具体的にどうすればいいか。	
状況把握力	個人で仕事をするのとどんな点でちがうと思うか。チームメンバーとしての役割にどんなものがあると思うか。	
規律性	チームで仕事をするとき守るべきルール、約束とは具体的にどんなことか。	例) 活動時間の使い方を自己管理できる。
ストレスコントロール力	ストレスをポジティブに捉えるというのは例えばどうすることか。	

Part 2 業界調査

第2回 日本の主要業界を知る（1）

調査の準備をする

◆この回の目的・目標

1. 業界名を知る。
2. 業界調査のグループを作り、調査する業界を決める。

1. なぜ業界調査は必要か？

1-1➤ 次の文を読んでAさんはこれからどうすればよいか、話し合おう。



Aさんの話

大学で情報処理を専攻していた為、情報サービス会社などのIT・通信業界を志望していましたが、IT企業の選考では、適性検査にまったく受かることができず、また、モバイル関連のビジネス・開発へとシフトしていることもあり、だんだん焦りはじめました。

1-2➤ 次のことを話し合おう。



1. 今現在、関心のある業界はあるか。
2. 今現在、入りたい業界は決まっているか。
3. 日本にはどのような業界があるか。
4. 業界を調べる方法には何があるか。

2. 日本にはどんな業界があるか？

2 ➤ クイズで業界の名前を覚える。



Q1. <モノを作る業界>

[カメラ・トラック・種子・冷蔵庫・粗鉄^{そてつ}・飲料・医薬品] は、次のどの業界で作られるか、() に記入して下さい。

- | | |
|------------|-----|
| 農林・水産 | () |
| 食品 | () |
| 自動車 | () |
| 電子・電気機器 | () |
| 精密機器・医療用機器 | () |
| 薬品 | () |
| 鉄鋼 | () |

Q2. <社会や生活のインフラ（基盤）を整備・運営する業界>

[住宅建築・土地の売買・石油の取引] は、次のどの業界で行われるか、() に記入して下さい。

- | | |
|-----|-----|
| 電力 | () |
| 不動産 | () |
| 建設 | () |

Q3. <モノを動かして社会に売る（商社）業界>

商社業界には、様々なモノを幅広く取り扱う商社（A）と繊維・食品・燃料など特定の商品のみを扱う商社（B）がある。どちらを専門（A）または総合（B）と呼ぶか。

専門商社（ A ・ B ） 総合商社（ A ・ B ）

Q4. <モノを一般消費者に売る業界>

次の業界は対面販売方式（T）をとるか、セルフサービス方式（S）をとるか、○をつけて下さい。

百貨店 (T ・ S)

スーパー (T ・ S)

コンビニ (T ・ S)

Q5. <おカネを動かして利益を得る業界>

「口座振替や送金を代行する」業界は次のどれか、() に○を記入して下さい。

銀行 ()

証券 ()

生命保険 ()

Q6. <情報に付加価値をつけて売る業界>

「固定電話」を扱う業界は次のどれか、() に○を記入して下さい。

放送 ()

新聞 ()

広告 ()

出版 ()

通信 ()

ソフトウェア ()

ネット関連技術 ()

Q7. <モノ以外のサービスを提供する業界>

[ツアーコンダクター・社会福祉士・フロントクレーク・講師] は、次のどの業界で仕事をする人々か、() に記入して下さい。

- | | |
|-----------|-----|
| 外食 | () |
| 旅行 | () |
| ホテル | () |
| アミューズメント | () |
| 教育 | () |
| 医療・介護サービス | () |

3. 業界調査の仲間を作る

3-1 関心のある業界を1人3つずつ選び、共通の業界を選んだ3人で 1グループを結成する。 

3-2 グループごとに業界図（リソース集 p.5 資料1）を見ながら、調査する業界を決定しよう。 

3-3 業界調査のためのオリエンテーションを行う。 

第3回 日本の主要業界を知る（2） 調査方法と手順を学ぶ

◆この回の目的・目標

1. 業界の調査方法と手順を知る。
2. プレゼンテーションまでの具体的な準備作業がわかる。

1. 「外食業界」を調べてみる

1-1 準備活動をする。



グループで外食業界について、調査しておきたいと思うことを話し合い、メモしよう。

1-2 調査方法と手順を考える。

① 調査項目



*例

- 外食業界とは？ だれにどんなものを提供しているか。 分類は？
- 現状を把握する 市場規模はどのぐらいか。 どんな企業があるか。
- 業界の歴史 日本ではどのぐらい古い業界か。
- 現在の問題点 最近の業界ニュースは何か。
- 業界キーワード これを知らないと業界は語れない！
- 職種は？ どんな仕事があるだろう…。

② リソース



*リソースの紹介（→リソース集 p.6 資料1）

a. 一般的な就職支援サイト

例) 日経就職ナビ（日本経済新聞社）、マイナビ（毎日コミュニケーションズ）、
学情ナビ（学情）、就職四季報オンライン（東洋経済新報社）等

b. 新聞／雑誌 日経新聞、業界紙、業界雑誌等

c. 書籍 業界や職種に関する書籍

例) 『就職四季報』（東洋経済新報社）

『内定者はこう選んだ！業界選び・仕事選び・自己分析・自己PR』（坂本 直
文著 高橋書店）

d. その他 人的リソース等

③ 情報の収集



誰がどの項目を調べるか、話し合っで決め、実際に調べてみよう。

④ 情報の共有



調べた項目を各自で□の中にまとめ、グループで情報を共有しよう。

ワークシート (ws3-1)

調査項目 ()

調査項目 ()

⑤ 視覚資料の作成

各自で調べた項目をパワーポイントのスライドにして、できたスライドをグループでチェックしよう。



チェック項目：レイアウト、情報量、わかりやすさ、文体・・・

2. 今日の「チームで働く力」(1)を自己評価する



2. 調査を開始する



2-1 ▶ 調査しよう。

1. 調査項目の分担を決める。
2. 調査した内容はワークシートにまとめる。

ワークシート (ws4-1) () 業界

調査項目	内容

2-2 調べた項目とまだ調べていない項目を明確にし、プレゼンテーションまでのスケジュールを確認して、項目担当責任者を決める。 

(担当責任者は、今後その項目のスライド作成と原稿完成および発表にも責任を持つ。)

スケジュール

() 月 () 日	5 コマ目 : パワーポイント作成
() 月 () 日	6 コマ目 : 発表原稿完成 全体の流れ確認
() 月 () 日	7 コマ目 : プレゼンテーション (調査発表)

調べた項目	担当責任者
次回までに調べてくる項目	担当責任者

3. 今日の「チームで働く力」(2) を自己評価する



第5回 日本の主要業界を知る（4） 発表の準備

◆この回の目的と目標

1. 調査内容を発表する。
2. 調査内容をスライドにまとめ、発表用の原稿を書く。

1. スライドを作る

- 1-1 ➤ グループのワークシートを集めて、調べた項目と内容を確認し、担当責任者がスライドシートに構想を書き入れる。



スライドシート (ws5-1)

1	2
3	4

1-2 どの順番で発表したらわかりやすいかを考えて並びを決める。



1-3 パワーポイントを使用して発表できるようにスライドを作成する。



スライドのチェック！

- ・各スライドは見やすく仕上がっているか。
- ・各スライドの視覚的情報量は適当か。
- ・スライドの順番はわかりやすく並べてあるか。

2. 原稿を書く

2 担当項目の発表用原稿を書く。



原稿のチェック！

- ・文法は正しいか。
- ・誤字脱字はないか。
- ・聞く人にとってわかりやすい言い回しになっているか。

3. 今日の「チームで働く力」(3)を自己評価する



第6回 日本の主要業界を知る（5） プレゼンテーションのリハーサル

◆この回の目的・目標

1. プレゼンテーションを実施する。
2. プレゼンテーションの準備を整える。

1. 発表の流れを作る

前置き

- ①あいさつ
- ②自己紹介
- ③業界紹介

本 論

- ④各項目の説明

まとめ

- ⑤各人の今後（調べた結果、更にこの業界を詳しく調べていくか、他の業界を調べてみるか、その理由）
- ⑥あいさつ
- ⑦質疑応答へ向けての言葉

1-1▶ 発表の手順を決める。

- ①～③をどのようにするか（どんな言葉を使うか、だれが言うか）決める。
- ⑤の原稿を書く。
- ⑥と⑦をどのようにするか（どんな言葉を使うか、だれが言うか）決める。



1-2 リハーサルをする。



流れのチェック！

- ・スライドと内容は合っているか。
- ・つながりはうまくいっているか。
- ・時間配分は適当か。

発表時のチェック！

- ・目線
- ・声の大きさ
- ・速さ
- ・発音

1-3 配布資料の準備をしよう。



* 不十分なところは、次回のプレゼンテーションの時間までに改善しておくこと。

2. 今日の「チームで働く力」(4)を自己評価する



第7回 日本の主要業界を知る（6） プレゼンテーション

◆この回の目的・目標

1. 日本の主要業界を知る。
2. 調査したことをクラス全体に発表し、共有する。

1. プレゼンテーション

1-1▶ グループで確認する。準備はできているか再度チェックしよう。



- スライド 流れ 原稿 機材

1-2▶ 全体で確認する。



*本日の流れ 発表→質疑応答→評価タイム

*評価 良い4 / 概ね良い3 / やや難あり2 / 要改善1

a) チーム全体

- ① 内容（よく調査できていたか、調査項目は十分か）
- ② 構成（話の流れはわかりやすかったか）
- ③ 説得力（内容がよく伝わったか）
- ④ 視覚資料の明確さ（スライドのまとめ方はわかりやすかったか）

b) 個人

- ①文法 ②語彙・表現
- ③声の大きさ・スピード ④イントネーション・発音 ⑤アイコンタクト

1-3▶ 発表する。



1-4▶ 発表後の振り返りをする。



*振り返りポイント

- ・調査段階で難しかったことは何か。
- ・調査をして、さらに理解を深めたい点があったか。
- ・他に調査しようと思う業界はあるか。
- ・調査のしかたについて質問はあるか。

1-5▶ **宿題** 課題シート1（ws7-1：活動冊子 p.25）に「業界調査」をまとめて提出する。



2. 今日の「チームで働く力」(5)を自己評価する



課題シート1 (WS7-1) : 「業界調査」 日付: 氏名:

(800～1000字程度)

Part 3 業界軸／職種軸を考える

第8回 私の業界軸／職種軸（1）

仕事を業界軸で考える

◆この回の目的・目標

1. 自分がやりたい仕事を、業界と結びつける。
2. 自分がやりたい仕事は何かを考え、理由を明確にする。

1. 自己分析し、やりたい仕事は何かを考える

1-1 ▷ 自分が好きなこと、喜びを感じることから考えよう。



1 「好きなもの（こと）や興味のあること」は何か。

例) 「車が好き」「体を動かすことが好き」……

- ・
- ・
- ・

2 「喜びを感じる時」はどんなときか。

例) 「人に貢献したとき」「疑問に答えが見つかったとき」「見たことがないものに出会ったとき」……

- ・
- ・
- ・

1-2 ▷ 1-1 を参考に、やりたい仕事は何かを考える。



手順) 1. どんな仕事がしたいか。

2. やりたい仕事は、次のうち、どこに入るか。最も近いものを選ぶ。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| a. ものをつくる仕事 | b. ものをつくる／売るための仕組みを考える仕事 |
| c. 社外の人と接する仕事 | d. 社内で書類を扱う仕事 |

3. 実現できる業界はどこか。

ワークシート例) 日本人学生Aさんの場合

1. 私は、	(英語を使う)	仕事がしたい
2. それは、		
a. ものをつくる仕事	b. ものをつくる／売るための仕組みを考える仕事	
c. 社外の人と接する仕事	d. 社内で書類を扱う仕事	
3. その業界は、		
	(航空会社)、	(旅行会社)、 (ホテル)

ワークシート a. (ws8-1)

1. 私は、	()	仕事がしたい
2. それは、		
a. ものをつくる仕事	b. ものをつくる／売るための仕組みを考える仕事	
c. 社外の人と接する仕事	d. 社内で書類を扱う仕事	
3. その業界は、		
	()、	()、 ()

ワークシート b. (ws8-2)

1. 私は、	()	仕事がしたい
2. それは、		
a. ものをつくる仕事	b. ものをつくる／売るための仕組みを考える仕事	
c. 社外の人と接する仕事	d. 社内で書類を扱う仕事	
3. その業界は、		
	()、	()、 ()

2. 業界選び

2-1 仲間の協力を得て、1-1、1-2 で考えたことを、より具体化する。



手順)

1. ワークシート (ws8-3:p29) の<きっかけ>と<業界>欄に1-2 で考えた内容を写す。
2. 仲間に例のような質問をもらい、気づきをメモする。
(仲間はお互い協力し合い、相手に気づきを与えられるような質問を考える。)
3. その他、仲間からのアドバイスがあればメモをする。

ワークシート例： 日本人学生Aさんの場合

Q (仲間)：なぜ英語？

A (私)：大学で学んだことを活かしたい。
留学経験を活かしたい。
相手の言語を使うことで、相手に安心感を与えたい。(自分の経験から)

Q：だれに英語を使う？

A：自分にとって「客」となる人。

<きっかけ>私は (英語を使う) 仕事がしたい
→ **それは、(人と接する仕事) がいい**

Q：英語を書く？話す？

A：直接、人と話すことを仕事にしたい。

Q：人と接するというのはどんなこと？

A：サービス、接客、案内。

Q：英語の実力は？

A：TOEIC 620 点をとった。今も勉強中。

Q：その仕事をするるとどんな喜びがある？

A：人に喜んでもらえて、それが直接返ってくると、自分のモチベーションが上がる。そのエピソードは… (実際の経験を話す)

実現できる業界は？

<業界>

*私の考え

- ・ 航空会社、旅行会社、ホテル

*仲間からのアドバイス

- ・ 外資系のメーカー

理由：海外の本社、支社の社員とコミュニケーションがとれる→それも「相手に安心を与える」のでは？

職種は？

<職種>

客室乗務員、グランドスタッフ (航空会社) / ツアーコンダクター (旅行会社)
フロントデスク業務 (ホテル) / 外資系メーカーは要調査

- 28 -

ワークシート (ws8-3)

Q: なぜ〇〇?	Q:
<きっかけ> 私は、 _____ 仕事がしたい → それは、 _____ がいい	
Q:	Q: その仕事をするるとどんな喜びがある?
<業界>	実現できる業界は?
<職種>	職種は?

3. 次回授業(職種選び)の準備

3-1 ➤ 企業にはどんな職種があるのか考える。



①自動車会社を例に、その会社にはどんな仕事があるかグループで考えよう。

例) デザインする。

②リソース集 (pp. 7-8) 資料1「職種リスト」を見て、3-1に出て来た仕事がどんな職種になるかグループで考えよう。



「職種リスト」の「事務・管理系」「営業・企画系」「技術系」「金融系」「販売・サービス系」「クリエイティブ系」は、それぞれ下記a~dのどのグループに入るか、

また、1-4に出て来た仕事は、どれにあたるか考えよう。

- a. ものをつくる仕事
- b. ものをつくる／売るための仕組みを考える仕事
- c. 社外の人と接する仕事
- d. 社内で書類を扱う仕事

宿題 次回授業までに、「職種リスト」の職種名と職種内容を読んで来ること。

4. 今日の「チームで働く力」(6)を自己評価する



第9回 私の業界軸／職種軸（2）

仕事を職種軸で考える

◆この回の目的・目標

1. 「私の業界軸／職種軸」完成。
2. 自分がやりたい仕事を、職種と結びつける。

1. 準備活動

1-1 ▷ 次の仕事内容の職種は何か。下から選んで（ ）に職種を書こう。



- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 社員を採用する。 | |
| 2. 宣伝用のCM、ポスターを作る。 | |
| 3. 個人あるいは法人に自社製品を販売する。 | |
| 4. 客がどのような商品を求めているかニーズを調査する。 | |
| 5. どこからお金を借りて、いつどこで使ったかを記録する。 | |
| 6. 研究の成果を実用化し、製品にする。 | |
| 7. 顧客の課題やニーズを把握し、最適なコンピューターシステムを設計する。 | |
| 8. 生産された製品の最終チェックを行う。 | |
| 9. 輸出入業務に必要な書類を作成する。 | |
| 10. 客にサービスを提供する。 | |
| 11. 製品を大量生産するためのラインを設計する。 | |
| 12. 商品を売るための戦略を考える。 | |

- | | | | | |
|---------|------------|--------------|---------|---------|
| a. 営業 | b. 接客 | c. システムエンジニア | d. 品質管理 | e. 人事 |
| f. 技術研究 | g. 経理 | h. マーチャンダイザー | i. 宣伝 | j. 貿易事務 |
| k. 生産技術 | l. マーケティング | | | |

2. 職種選び

2-1 自分がやりたい仕事はどんな職種になるか。



——前回授業で使用した活動冊子 p. 29 のワークシート ws8-3<職種>欄を完成させる。ワークシート(ws8-3:p. 29)で、仲間の質問から得た気づきをもとに、自分がやりたいと思う仕事がどの職種に当たるか考え、リソース集にある「職種リスト」や web、書籍を使って調べよう。

職種は、業界によっては業務内容や職種名が異なる場合がある。選んだ業界ごとに改めて職種を見なおしてみよう。

職種名が異なる例：

ホテル業界 接客→宿泊部門（フロントクラーク、コンシェルジュ…）

2-2 課題シート「私の業界／職種軸」を作成しよう。

<準備> ワークシートを見ながら、ペアで自分がやりたい仕事について話す。 

（下記の質問にそってまとめて話すこと）

- ・私がやりたいと思う仕事は？
- ・その理由は？
- ・具体的にどんな仕事？
- ・その仕事にどんなやりがいを感じるか。
- ・それはどんな業界、業種で実現できると思うか。
- ・職種は何か。
- ・その職種に就くために必要な能力は何だと思うか。

<課題シート 2 (ws9-1：活動冊子 p. 33) 作成>



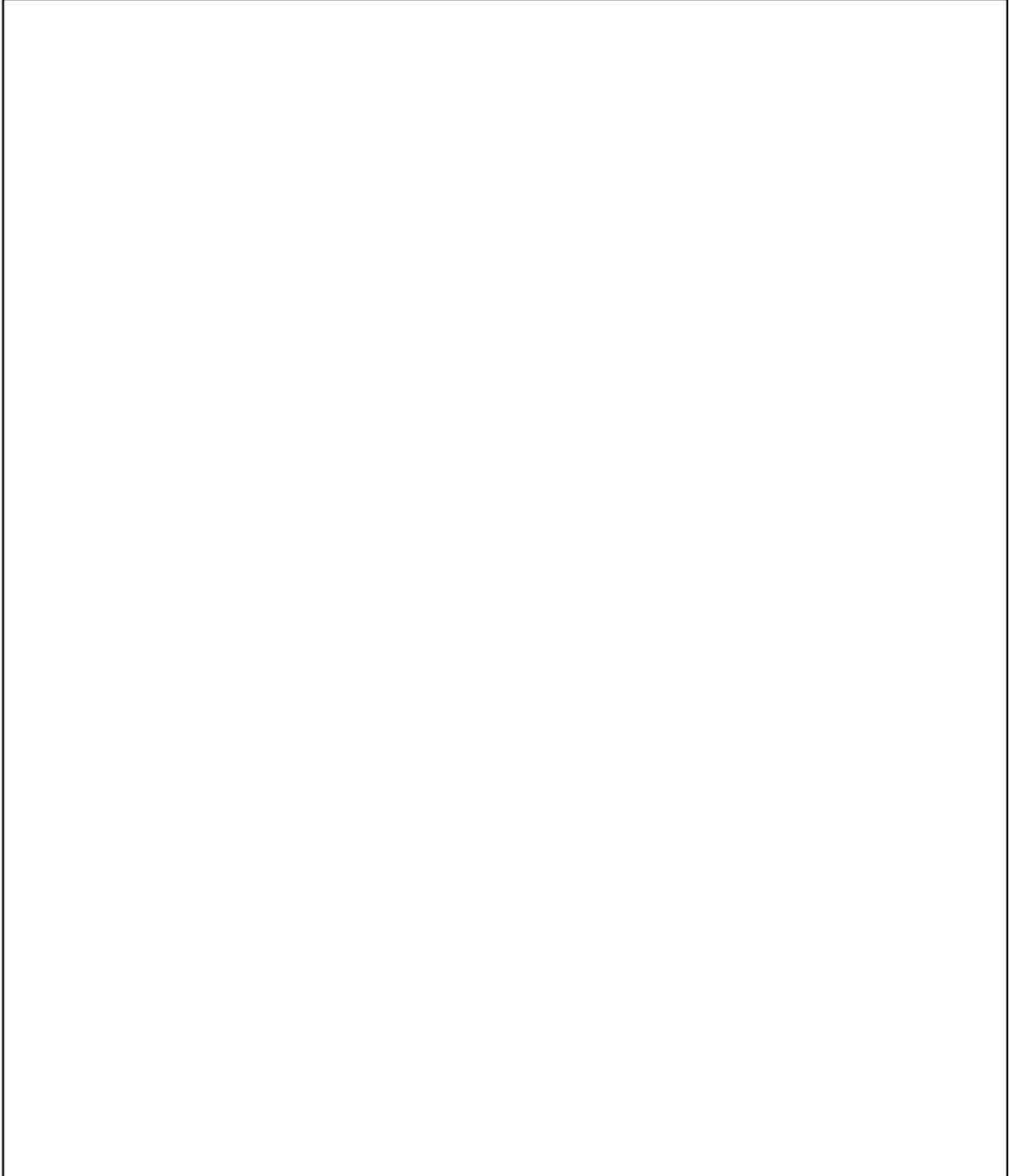
今話したことをまとめ、「私の業界軸／職種軸」シートを作成しよう。

3. 今日の「チームで働く力」(7) を自己評価する



課題シート2 (ws9-1) : 「私の業界軸／職種軸」 日付 :

氏名 :



(800～1000 字程度)

Part 4 企業軸を考える

第10回 私の企業軸（1）

企業選びの条件

◆この回の目的・目標

1. 企業を選ぶ視点がわかる。
2. 自分が企業選びに重要視する条件とその理由を明確にし、企業がその条件を満たしているかどうか調べる方法を知る。

1. 企業選びの条件について考える

1-1▶ 下記は求職者が企業選びの際、重要視する条件15項目です。

①～⑮のような会社に入るとどんな自分がイメージできるか、例を参考にして話し合い、ワークシート(ws10-1：活動冊子 p.35)にメモしよう。



例：転勤がないので、生活基盤を築きやすい。

- ①転勤・出向がない。
- ②企業の知名度がある。
- ③自分のやりたい仕事ができる。
- ④能力・知識を生かした仕事ができる。
- ⑤給与・待遇がよい。
- ⑥手当・福利厚生がしっかりしている。
- ⑦将来性のある会社である。
- ⑧休みがしっかりとれ、余暇を大切にできそうである。
- ⑨職場に活気がある。従業員が楽しそうに働いている。
- ⑩社風が自分にあっている。
- ⑪倒産しない・経営状況が健全である。
- ⑫成果や業績が正しく評価される。
- ⑬キャリアアップできる仕事である。
- ⑭尊敬できる経営者・上司・人材がいる。
- ⑮社会貢献・環境に配慮している。

参考：独立行政法人 労働政策研究・研修機構「大学における未就職卒業生支援に関する調査（速報）」

厚生労働省「平成19年就業形態の多様化に関する実態調査の概要」表16:現在の職場での満足度(労働者割合)

ワークシート (ws10-1)

項目	どんな自分がイメージできるか
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	

1-2➡ グループで出た話をクラスで発表し、気づきをワークシート ws10-1 に書き加えよう。



1-3 就職5年後の自分像を考えよう。



グループで、1人が質問例を参考に質問し、もう1人が記録係となってメモをとる。

<質問項目例>

社会的に（企業人として）

どこで働いているか。（日本、自国 etc.）

会社内の立場はどうなっているか。（チームの中で何かを任されている、研究を進めている etc.）

プライベートで（一個人として）

どんなところに住んでいるか。（社宅、マンション etc.）

結婚しているか。

ワークシート（ws10-2）

社会的に（企業人として）

プライベートで（一個人として）

- 1-4 ➤ 1-3 で明確になった自分像を実現するには、どんな条件を満たしている企業を選べばいいか、p. 34「求職者が企業選びの際、重要視する条件 15 項目」から選んでワークシート ws10-3 に書き入れよう。 
 (ただし、15 項目にない場合は、独自の条件を書き加え、重要視する項目は5項目以内で選ぶこと)

ワークシート (ws10-3)

重要視する条件	その理由

- 1-5 ➤ なぜその条件を重要視するのか、グループで話し合い、ワークシート ws10-3 に書き入れよう。 

2. 企業調査の方法を知る



2-1 情報リソースを選ぶ。

下記の条件が満たされている企業かどうか、どのリソースを使ったらそれがわかるかをグループで話し合い、適当なものに○をつけよう。(複数選択可)

企業選びの条件	調べる方法	WEB	四季報	会社資料	OB OG の話	会社説明会
①転勤・出向がない。						
②企業の知名度がある。						
③自分のやりたい仕事ができる						
④能力・知識を生かした仕事ができる。						
⑤給与・待遇がよい。						
⑥手当・福利厚生がしっかりしている。						
⑦将来性のある会社である。						
⑧休みがしっかりとれ、余暇を大切にできそうである。						
⑨職場に活気があり、従業員が楽しそうに働いている。						
⑩社風が自分にあっている。						
⑪倒産しない・経営状況が健全である。						
⑫成果や業績が正しく評価される。						
⑬キャリアアップできる仕事である。						
⑭尊敬できる経営者・上司・人材がいる。						
⑮社会貢献・環境に配慮している。						
⑯その他 ()						

参考：独立行政法人 労働政策研究・研修機構「大学における未就職卒業者支援に関する調査（速報）」

厚生労働省：「平成19年就業形態の多様化に関する実態調査の概要」表16:現在の職場での満足度(労働者割合)

3. 今日の「チームで働く力」(8)を自己評価する



第11回 私の企業軸（2） 大企業と中小企業

◆この回の目的・目標

1. 企業選びの視野を広げる。
2. 規模から見た企業について知る。

1. 企業選びの視点を増やす

1-1➤ 企業についてグループで話そう。



1. 日本で知っている企業名は何か。
2. なぜその企業を知っているか。
3. 有名と優良は同じか。
4. なぜ知名度の高い企業とそうでない企業があるのか。
5. 知名度が高くない企業はどうやって調べればよいか。

1-2➤ リソース集 (pp. 9-13) 資料1を読んで、大企業に関することと
中小企業に関することを下の表にまとめよう。



大企業と中小企業の比較 (ws11-1)

大企業	中小企業

1-3 ➤ 下の点について話し合っ、考えをまとめよう。



1. リソース集 (pp.9-13)資料1を読んで、気づいたこと。
2. 企業選びを考える上で、忘れずにおきたいポイント。

「大企業で働くこと、中小企業で働くこと」(ws11-2)

2. 今日の「チームで働く力」(9)を自己評価する



第12回 私の企業軸（3） 仕事を企業軸で考える

◆この回の目的・目標

1. 「私の企業軸」を完成させる。
2. 働く場として企業を選ぶ際、重要視したい点は何かをまとめる。

1. 企業選びのポイント

1-1➤ 第10回と第11回の授業を振り返って次の質問に答え、仲間と話し合い考えをまとめよう。



- a. 企業選びの際、自分が重要視する条件とその理由は？
- b. その条件は、大企業と中小企業のどちらで満たされやすいか、あるいはどちらも同じか？
- c. 今は大企業と中小企業のどちらに、よりひかれているか？ その理由は？
- d. 自分の望む企業と出会うためにはどうすればよいか？

1-2➤ 課題シート3（ws12-1）「私の企業軸」を作成する。



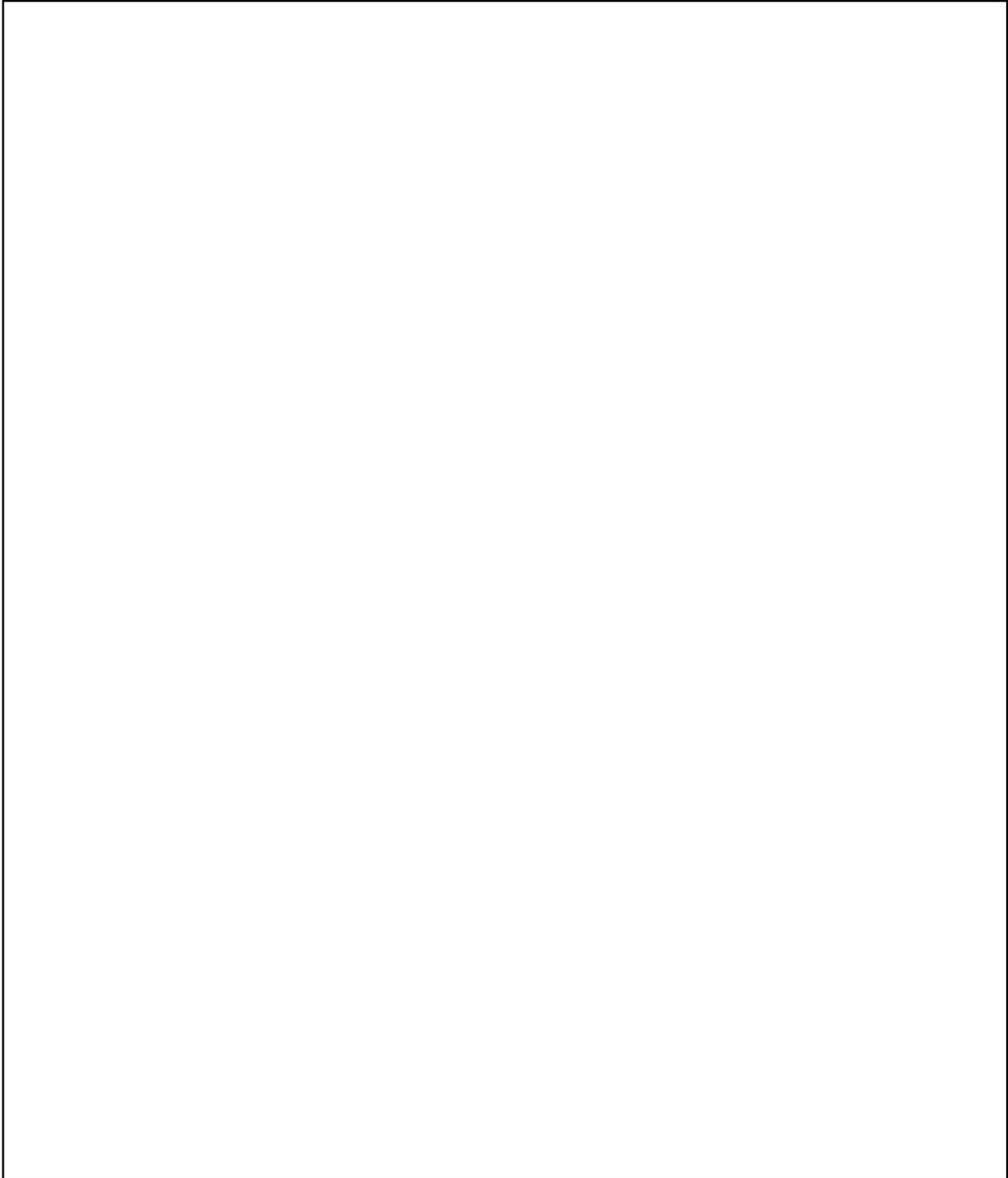
2. 今日の「チームで働く力」(10)を自己評価する



課題シート3 (ws12-1) : 「私の企業軸」

日付 :

氏名 :



(800～1000字程度)

Part 5 まとめ

第13回 会社選びのための〈自分軸〉（1）

最終レポート作成

◆この回の目的・目標

1. 会社選びのための〈自分軸〉を完成させる。
2. これまでの活動を振り返り、〈自分軸〉完成に至るまでを整理する。

1. 考えを整理する



1-1 次順番で整理してみよう。

- ① 私の〈自分軸〉はこれ！
- ② その根拠——なぜ、これが〈自分軸〉となったのか。
- ③ 調査や分析がまだ足りないところはどこか。
- ④ その仕事について自分に足りない能力やスキルは何か。その力をつけるために何をすればいいか。
- ⑤ いくつかある軸の中で、現時点で一番優先したいものはどれか。それはなぜか。
- ⑥ そのために会社選びの第一歩をどうするか。（何から始めるか。）
- ⑦ 自分のTO DOリストを作成しよう。

1-2 ペアでお互いに話そう。



聞き手は相手の話をよく聞き、わかりにくい点、曖昧あいまいな点を指摘したり、質問したりして、お互いのレポート作成に協力し合おう。

2. レポート作成



2-1 最終レポートの作成を開始しよう。

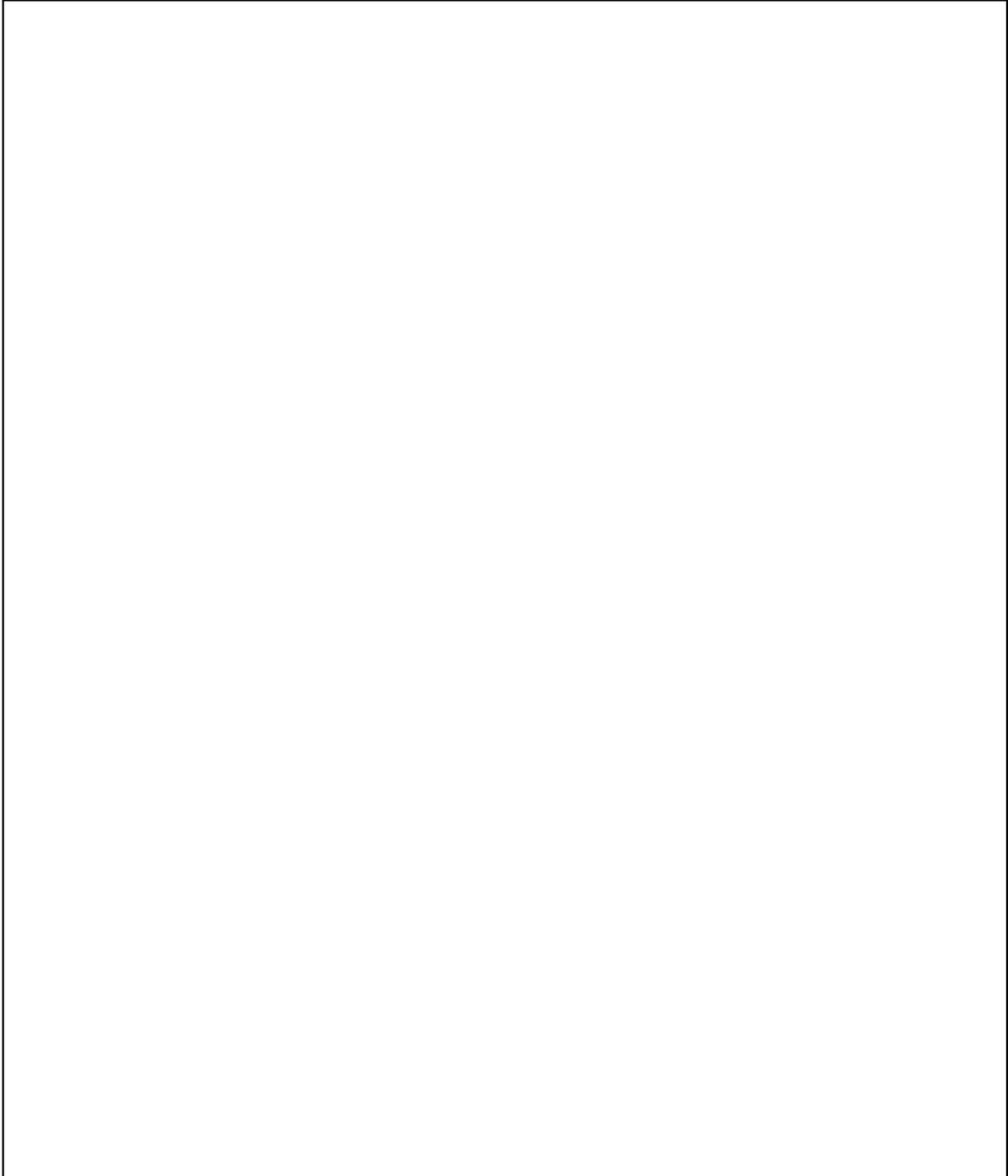
上記活動をもとにレポートを書こう。（1-1の項目をすべて記述すること。）

書き始め : 私の〈自分軸〉はこれ。

書き終わり : 会社選びの第一歩を何からスタートするか。

最終レポート（ws13-1）：「会社選びのための＜自分軸＞」

日付： 氏名：



(800～1000字程度)

第14回 会社選びのための〈自分軸〉（2） 発表

◆この回の目的・目標

1. 〈自分軸〉について新たな気づきを得る。
2. クラスの全員が、自分軸について発表し、意見やアドバイスを得る。

1 発表の準備をしよう。

1. 発表の順番を決める。



2. レポートを読み返し、発表できるようにする。（1人3分程度）



2 発表しよう。

発表後、意見やアドバイスをもらったなら、下記の〈フィードバックメモ〉に書き込むこと。



〈フィードバックメモ〉

3 気づきを交換する。



第1回の授業で書いたワークシート（ws1-1）：現時点で考える「会社選びに重視しいこと」と最終レポートを比較して、会社選びの視点がどのように変わったか話そう。

第15回 社会人基礎力「チームで働く力」 私の強みと今後の課題

◆この回の目的・目標

1. 企業にとって、チームワークの重要性とは何かを考える。
2. 社会人基礎力「チームで働く力」の最終自己評価を行う。

1. 企業側の視点でチームワークを考える



1-1▶ チームワークに対する考え方を、共有しよう。

- ① チームワークで大切にしていることは何か。
- ② 会社にとってチームワークのメリットとは何か。

1-2▶ チームワークとはどのようなものか、それは企業にとってどんなメリットがあるのかをクラスで話し合おう。

2. 社会人基礎力「チームで働く力」最終自己評価

2-1▶ これまでの活動を通して得た、各能力を発揮するための具体的な行動例をもう一度挙げてみよう。



ワークシート (ws15-1) <チームで働く力>を構成する6つの能力

構成する力	質問	具体的な行動例
発信力	どうすれば整理して話せるか。相手に理解してもらうためにどうすればいいか。	
傾聴力	相手の話しやすい環境をつくるには具体的に何をすればいいか。適切でない質問のタイミングとは？	
柔軟性	自分のルールややり方に固執するというのはどんな意味か。	

	相手の意見や立場を尊重するには具体的にどうすればいいか。	
状況把握力	個人で仕事をするのとどんな点でちがうと思うか。チームメンバーとしての役割にどんなものがあると思うか。	
規律性	チームで仕事をするとき守るべきルール、約束とは具体的にどんなことか。	
ストレスコントロール力	ストレスをポジティブに捉えるというのは例えばどうすることか。	

2-2 「チームで働く力」について最終自己評価をしよう。



1. 自己評価シート1～10までを振り返り、6つの能力を下記のように再評価する。

よく発揮できた ◎
 ときどき発揮できた ○
 ほとんど発揮できなかった ×

2. これまで一緒に活動してきた仲間を互いに評価し合う。



例) Aさんは○○の活動で、私の話をよく聞いてくれたので話しやすかった。
 Bさんは○○の活動で、資料を探すのをよく手伝ってくれたので作業が進んだ。
 Cさんは、相手が理解しているかどうか、もっと確認するようにすれば発信力がつくのでは?…等。

→自己評価シートを再度見直し。必要があれば書き直そう。

3. 自己評価シートの「振り返りと今後の課題」をまとめる。



自信がついた点や、発揮できなかった力について、今後どのように克服していくかをまとめよう。

4. 全員で発表。



業界・企業研究入門

■評価シート

社会人基礎力「チームで働く力」自己評価シート

プレゼンテーション評価シート

課題シート1「業界調査」レポート評価シート

課題シート2「私の業界軸／職種軸」評価シート

課題シート3「私の企業軸」評価シート

最終レポート及び最終発表「会社選びのための〈自分軸〉」評価シート

社会人基礎力「チームで働く力」最終自己評価シート

各回のキーワード

■社会人基礎力「チームで働く力」自己評価シート

授業：第 回（ 月 日）タイトル（ ）

氏名：

発揮できた ○ / 発揮できなかった ×

能力	評価	理由
発信力		
傾聴力		
柔軟性		
状況把握力		
規律性		
ストレスコントロール力		

* 次回の課題や仲間からのアドバイスをメモしておこう

メモ：

今日のグループ活動で、特に発揮できた力/発揮できなかった力をそれぞれ1つか2つ挙げてその理由を書いて下さい。

→仲間と結果を見せ合い、気づかなかった点を評価し合おう。

■ 課題シート1：「業界調査」レポート評価シート

日付： 氏名：

点数： 良い 4 / 概ね良い 3 / やや難あり 2 / 要改善 1

	評価項目	点数	コメント
1	情報収集力（調査項目に沿ってよく収集できたか）		
2	情報分析力（収集した情報に基づき、考えが述べられているか）		
3	文法（活用、助詞、接続詞等文法全般）		
4	表記（表記ミスはないか、漢字を適度に使用しているか）		
5	表現（文体の一致、使用語彙や表現のバランス）		

コメント：

■ 課題シート2：「私の業界軸／職種軸」評価シート

日付： 氏名：

点数： 良い 4 / 概ね良い 3 / やや難あり 2 / 要改善 1

	評価項目	点数	コメント
1	論理力（論旨の展開）		
2	分析力（記述すべき項目がすべて網羅されているか、根拠が調査や分析に基づいているか）		
3	文法（活用、助詞、接続詞等文法全般）		
4	表記（表記ミスはないか、漢字を適度に使用しているか）		
5	表現（文体の一致、使用語彙や表現のバランス）		

コメント：

■課題シート3：「私の企業軸」評価シート

日付： 氏名：

点数： 良い 4 / 概ね良い 3 / やや難あり 2 / 要改善 1

	評価項目	点数	コメント
1	論理力 (論旨の展開)		
2	分析力 (記述すべき項目がすべて網羅されているか、根拠が調査や分析に基づいているか)		
3	文法 (活用、助詞、接続詞等文法全般)		
4	表記 (表記ミスはないか、漢字を適度に使用しているか)		
5	表現 (文体の一致、使用語彙や表現のバランス)		

コメント：

■ 最終レポート及び最終発表：「会社選びのための〈自分軸〉」評価シート

日付：

氏名：

点数： 良い 4 / 概ね良い 3 / やや難あり 2 / 要改善 1

	評価項目	点数	コメント
内容 1	論理力（論旨の展開）		
2	分析力（記述すべき項目がすべて網羅されているか、根拠が調査や分析に基づいているか）		
3	文法（活用、助詞、接続詞等文法全般）		
4	表記（表記ミスはないか、漢字を適度に使用しているか）		
5	表現（文体の一致、使用語彙や表現のバランス）		
発表 1	質疑応答能力（受信力） （相手の質問の意図を理解しているか）		
2	質疑応答能力（発信力） （相手が理解できるようにことばを選び、的確に答えているか）		

コメント：

■社会人基礎力「チームで働く力」最終自己評価シート

日付：

氏名：

よく発揮できた ◎、ときどき発揮できた ○、ほとんど発揮できなかった ×

能力	評価	理由
発信力		
傾聴力		
柔軟性		
状況把握力		
規律性		
ストレスコントロール力		

振り返りと今後の課題：

◆各回のキーワード

- 1 自分軸 業界 職種 企業 重要視 就(職)活(動) 判断 基準 譲れない
じぶんじく きょうかい しょくしゆ きぎょう じゅうようし しゅう しょくかつ どう はんだん きじゆん ゆず
 原動力 現状 動向 理念 社風 待遇 発信力 傾聴力 柔軟性
げんどうりよく げんじょう どうこう りねん しゃふう たいぐう はっしんりよく けいちようりよく じゅうなんせい
 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力 社会人基礎力
じょうきょうはあくりよく きりつせい しやかいじんきそりよく
- 2 調査 整備 運営 消費者 利益 付加価値 提供
ちようさ せいび うんえい しょうひしや りえき ふか かち ていきょう
- 3 手順 分類 把握 市場規模 展望 検索 特集 項目 収集 抜粋 要点
てじゆん ぶんるい はあく しじょうきぼ てんぼう けんさく とくしゅう こうもく しゅうしゅう ばっすい ようてん
- 4 概要 人材 分担 明確 担当
がいよう じんざい ぶんたん めいかく たんとう
- 5 原稿 構想 並び 仕上がる 誤字脱字 言い回し
げんこう こうそう なら しあ ごじだつじ い まわし
- 6 整う 流れ 前置き 本論 まとめ 質疑応答 時間配分 目線 配布 改善
ととの なが まえおき ほんろん まとめ しつぎおうとう じかんはいぶん めせん はいふ かいぜん
- 7 共有 構成 説得力 振り返り
きょうゆう こうせい せつとくりよく ふ かえり
- 8 自己分析 仕組み 接する 扱う 気づき 喜び
じこぶんせき しく せつ あつか き よろこ
- 9 業務 具体的 やりがい 実現 (職種に) 就く
ぎょうむ ぐたいてき やりがい じつげん (しょくしゆに) つく
- 10 条件 満たす 求職者 自分像 独自
じょうけん み たたす きゅうしょくしや じぶんぞう どくじ
- 11 視野 規模 視点 優良 知名度 比較
しや きぼ してん ゆうりょう ちめいど ひかく
- 12 ひかれる 出会う
で あう
- 13 整理 根拠 優先 曖昧 第一歩
せいり こんきよ ゆうせん あいまい だいいつぽ
- 14 <特になし>
とく
- 15 発揮 克服
はっき こくふく

○監修

財団法人 海外技術者研修協会

○執筆者

山本弘子 カイ日本語スクール 代表
松尾恵美 カイ日本語スクール 専任講師
中村和弘 カイ日本語スクール 専任講師
倉本文子 カイ日本語スクール 専任講師
深澤道子 カイ日本語スクール 非常勤講師
増田アヤ子 カイ日本語スクール 非常勤講師
松本直美 カイ日本語スクール 非常勤講師

○イラスト

柳原満月

※執筆者の所属は教材作成時（平成19年度）のものです。

本教材は財団法人海外技術者研修協会が経済産業省より受託し実施した「アジア人財資金構想・共通カリキュラムマネジメントセンター事業」の一環として開発されました。

監修

財団法人 海外技術者研修協会

〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話 03(3888)8211 <http://www.aots.or.jp>

2011年3月

©2011 The Association for Overseas Technical Scholarship (AOTS)

不許複製・転載